

たかつき市民活動ネットワーク NEWS

2003.11.8 第3号

発行：たかつき市民活動ネットワーク

TEL：090-7348-4525

FAX：072-688-7328

～市長公室長 樋渡啓祐さんからのメッセージ～



「たかつき市民活動ネットワーク」に期待

(はじめに)

紅葉の美しい季節になりました。

市長公室長の樋渡啓祐と申します。会員の皆様が分野を越えた交流・活動活性化に向け着実な歩みを進めてこられたご努力に対して敬意を表します。

私は、今年の3月まで総務省で勤務していましたが、市民活動の促進に関する制度設計に携わっていたので、高槻市で同じ分野で働けることをうれしく思っています。

私が総務省時代から常々申し上げていたことは、「全国的に見て行政依存型の地域づくりは失敗している。自らの問題は自らで、というコミュニティなりボランティアが現れないと、地域の活性化にはならない。」ということです。これはここ高槻に来てまったく同じ考えです。

(高槻では)

高槻では、今年、市民公益活動の基本指針が策定されたばかりです。実感として、市民公益活動は、まさにこれから春の時代を迎えるものと捉えています。

このような中で、「たかつき市民活動ネットワーク」が、コミュニティやボランティア、NPOなどの活動の充実が図られるよう、地域に密着した「中間支援組織」として、大きな期待が寄せられていることは承知しています。

ただし、正直に言って、このような中間支援組織というのは現代社会では不用論が喧伝されるなど、いわば冬の時代を迎えているのは、例えば、会社における中間管理職の役割の減少、経済にお

ける問屋機能の縮小に見て取れるのではないかと思います。

(「たかつき市民活動ネットワーク」の役割)

このような厳しい社会情勢の下、「たかつき市民活動ネットワーク」にはどのような役割が期待されているのでしょうか。私は、たとえば言うところ「何でも相談屋」さんになっていただければと思います。会員の皆様のよき相談相手、ひいては、事業提案など積極的な役割を期待しています。

そのためには、まず、「たかつき市民活動ネットワーク」が「情報を蓄積」することが求められます。常々、自分自身にも言い聞かせているのですが、情報は足で稼ぐものだと思います。さらには、ネットワークを市内の会員の皆様に向けるのももちろん大事ですが、同時に、優れた先進自治体に向け、貪欲に吸収し会員の皆様に「還元」していくのもこれからの役割だと思います。

幸いにして、「たかつき市民活動ネットワーク」は積極的に前向きな方々で占められると聞いており、私も負けないように市役所行政に当たってまいりたいと思います。今後とも、キャッチボールをしながらより良き高槻市を目指して互いに頑張りましょう。

樋渡さんには、8月20日の当会の講演会にご出席いただき大変有意義な時間を過ごしました。また、今回、市民活動に対する期待を込めたメッセージを寄せていただきました。

たかつきNPO法人大集合！

研修部会担当理事 遠矢 家永子

9月26日（金）、会員研修とNPO間の顔合わせを目的とした集まりを実施しました。

全国組織の支部も含めると、高槻では約47団体がNPO法人として活動しています。当初、何団体の方が参加して下さるか予想もつかず多少心配もしていましたが、18法人のみなさん20名と16名の会員及び行政職員のみなさんに参加いただきました。

まず初めにそれぞれの団体の思いや活動内容をお話いただき、それから法人を取得しているが故の悩みや課題などを出し合い、あっという間の3時間でした。活動歴の長い団体からできたてホヤホヤの法人まで、初めての顔合わせで今後この出会いをきっかけにNPO間での協働も模索していければと思います。

活動分野が同じかもしくは近い団体は、比較的情報を共有していたり何かしらの関係を作っていたりしますが、分野が違えば接点も少なく互いの存在さえ知らない場合が多々あります。



今回のように、NPO法人という組織形態での集まりは分野を超えて情報が交換でき、分野が違うからこそ出来る協働があることも見えてきました。

また、法人であるが故の課題も共有できその課題を解消すべく、たとえば行政機関に要望書を出すなど、共に行動することも今後はできるかもしれません。

今回のこの顔合わせをきっかけに、ネットワークを広げていければと思います。

参加NPOからのメッセージ

今回の集いにご参加くださったNPO法人の皆様から、次の感想を寄せていただきました。有難うございました。

初めて参加させて頂きましたが、大変参考になりました。今後このような機会があれば参加したいと思っております。また、この度たかつき市民活動ネットワークに入会しましたので、皆様よろしくお願い致します。

「るんびに」・渡邊一夫さん

社会的責任を考える時、自立した市民価値の創出、自治としての組織経営や行政との関わり方の変換等の課題があります。ネットワークに少し期待しています。

「高槻の高齢社会をよくする会」
中越優さん

NPO法人の皆様の熱心で真摯な取り組みに大変刺激を受けました。NPO法人の場合は、経営の自立が課題になり、無理やり競争させられているように感じます。それだからこそ、横のつながりが大切だと思います。

「大阪植物観察会」・栗本修滋さん

取り組むテーマは違っても、法人としての喜びや苦労は共有できます。お互いの活動の中身をもっと話せる場が持て、理解し合えたら法人同士のつながりが今の活動にもっと深みと広がりをもたせてくれると思います。

「高槻子育て支援ネットワークティピー」
石井智子さん

多様化の時代、課題に対して様々な面から捉えていくことが重要です。NPO法人のネットワークづくりが大切であると考えます。

「街かどアライブ西冠」・江畑庄一郎さん

巾広くいろいろな活動分野からの参加で刺激になりました。時間がかかってもお互いが分かりあえ、協力し合ってより良い社会づくりにがんばりましょう。

「きらら」・松永美保子さん

今回参加した理由としては、高槻にどのようなNPO法人があるのか資料や情報がいたたきたくて参加させていただきました。私達のような団体がこのネットワークの中で何が出来何が得られるのかはまだ未知数ですが、とにかく、このようなネットワークが行政に対しても力を持ち活動出来れば良いと思いました。

**「総合レクリエーション工房チャイルドハート」
平井規仁さん**

今回は分野もミッションも違う団体が一同に会したことに意味がありました。次回は？テーマごとの分科会や、ネットワーク作りを目指した分科会などを希望します。

「三島子ども文化ステーション」・森泰子さん

まず、このような機会をつくっていただいたことに感謝いたします。初めての顔合わせなのでいたし方なかったかも知れませんが、もっと活動をとうしての課題や問題点などを出し合い、共通認識のもとに議論を深め合うことができたらなあ～と思いました。次回に期待します。よろしくおねがいします。

「いきいき会」・内田ふき子さん

様々な活動の団体が集まり、情報を交換できた場であったと思います。議論し合える関係が構築されればと思います。

「シーン」・中村 淑子さん

当日は出席された団体と顔合わせと情報交換ができ、参加して良かったと思いました。NPO法人の共通基盤は、<住みやすい地域づくり・まちづくり>であり、連携とネットワークが不可欠です。当面は交流と身近なテーマが主になるでしょうが、継続する中で方向性が明確な企画を期待します。

「高槻ライフケア協会」・川浪スエ子さん

大阪ボラ協の永井氏の軽妙な司会により、活発な発言が時間が足りない位に出ましたが、行政及び特に各団体との連携は、具体化する迄かなりの時間と努力の必要性を感じました。

「GHC花と緑の救援隊」・大里忠行さん

研修部会から

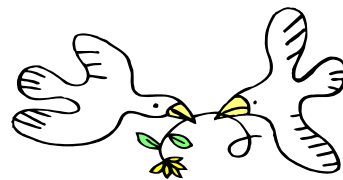
研修会の第1弾として、川畑恵子さんを講師にお迎えし「市民公益活動とは？」「中間組織とは？」をテーマにグループワークなどで意見をかわし、3回で計40名の会員がこの学びの場に参加しました。

第2弾としては、中核市に移行し内閣府から来られた樋渡市長公室長をお招きし、海外のNPOの情報やこれからの行政とNPOとの協働についてお話し頂き、20名の会員が和やかな雰囲気の中集いました。

高槻市との共催で実施する「市民公益活動促進フォーラム」の実行委員会が発足しました。

2月14日のイベントに向けて企画会議を重ねて行きます。行政との協働となる今回のフォーラムは、会員のみならず並びに一般のみなさんも楽しめる企画をと考えています。具体的には行政への提言を、NPOのみならずにプレゼンテーションして頂き、その提言集を実際に庁内で配付し具体的な働きかけができるようなちょっとよくばりな企画を計画中です。みなさんには追ってご案内をさしあげますので、どうぞ楽しみにしてお待ち下さい。

交流部会の動きと期待



交流部会担当理事 山下征紀

第1回交流サロンの開催

9月29日(月)10名のネットワークの会員が集まりました。“語る“そして、感想や意見のメッセージを重ねて、相互に知り合い、おしゃべりの刺激の中からヒントや仲間の新しい発見ができたらの軽いノリのスタートでした。サロンだから”全員が必ずしゃべる“のルールの下に。

ゲストは理事長の鍵谷誠一さんでした。30分間、“たかつき市民活動ネットワークの目的と私の想い”を語っていただきました。規約3条の目的と施策(事業)についての概説の後、主体的な市民活動と協働にポイントを絞ったものが提供話題でした。

内容は、“現状レベルを考えての参加活動・支援や情報収集に限っては”“理事会を傍聴できるように、そしてQandAで誰でもが接近できるように”“サポートセンタースタッフからのネットワークへの協働の注文”等、途中、飛躍も脱線もありましたが、ワイワイ・ガヤガヤと盛り上がった交流でした。

「お知らせ」

◎ 第2回交流サロン

11月29日(土)

時間 13:30~15:30

会場 サポートセンター

ゲスト サポートセンター委員長 浜田伝さん

話題提供

“サポートセンター6ヶ月を経過して想うこと”

◎ 忘年・懇親会

12月13日(土) 時間 18:00~20:00

会場 別館ふじわら TEL670-1171

会費 女性3500円、男性4000円

～お願い～

今回、出欠の返事を頂いた方は16名でした。次回からは是非ともご返事を。また、この種の企画で、ゲストの他薦・自薦やアイデアがございましたら、お知らせください。

理事会からのお知らせ

次回理事会から会員の皆さんの傍聴が可能になりました。理事会の開催予定は、高槻市市民公益活動サポートセンターに掲示いたしますので、ご確認ください。出席を希望される方は、事前に事務局までご連絡ください。

連絡先 (tel:090-7348-4525、
fax:072-688-7328 鍵谷)

● 第6回理事会のご案内:

日時:11月18日(火)18:30~21:00

場所:城内公民館 2F 集会室3

議題:中期的な目標について

2003年8月~10月までの主な活動

8月7日: 第3回基礎研修会

8月9日: 会報第2号発行

8月20日: 市長公室長の講演会

8月26日: 第3回理事会

9月26日: NPO法人大集合

9月29日: 第1回交流サロン

9月30日: 第4回理事会、

10月21日: 第5回理事会

会員募集中

住みよい市民社会づくりを進めるために、多くの市民・団体の参加を期待しています。詳しくは事務局までご連絡ください。